

流域下水道事業会計
令和3年度和歌山県流域下水道事業会計補正予算実施計画

資本的収入及び支出

収 入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資本的収入	1 企業債		千円 902,617	千円 345,727	千円 1,248,344	
		1 企業債	70,500	71,400	141,900	
	2 補助金	1 国庫補助金	70,500	71,400	141,900	紀の川流域 61,400 紀の川中流流域 10,000
		1 国庫補助金	761,481	202,963	964,444	
		2 他会計補助金	166,000	203,000	369,000	紀の川流域 185,000 紀の川中流流域 18,000
	3 負担金	2 他会計補助金	595,481	△37	595,444	紀の川流域
		1 建設負担金	70,636	71,364	142,000	
			1 建設負担金	70,636	71,364	142,000

支 出

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1 資 本 的 支 出	1 建 設 改 良 費	1 建 設 事 務 費	<small>千円</small> 902,617	<small>千円</small> 345,727	<small>千円</small> 1,248,344	
			307,273	345,727	653,000	
			19,773	9,977	29,750	紀の川流域 7,977 紀の川中流流域 2,000
		2 流域下水道建設事業費	287,500	335,750	623,250	紀の川流域 工事請負費 253,750 委託料 46,000 紀の川中流流域 委託料 36,000

令和3年度和歌山県流域下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

千円

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	20,063
	減価償却費	1,669,739
	長期前受金戻入額	△1,669,739
	支払利息及び企業債取扱諸費	162,514
	未収金の増加	△2,112
	未払金の増加	193,923
	前受金の増加	6,686
	前払金の増加	<u>△4,222</u>
	小計	376,852
	利息の支払額	<u>△162,514</u>
	業務活動によるキャッシュ・フロー	214,338
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△1,232,440
	建設負担金による収入	224,863
	国庫補助金による収入	643,518
	他会計補助金による収入	<u>595,444</u>
	投資活動によるキャッシュ・フロー	231,385
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	企業債による収入	231,200
	企業債の償還による支出	<u>△595,344</u>
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△364,144
	資金増減額	81,579
	資金期首残高	<u>216,236</u>
	資金期末残高	297,815

令和3年度和歌山県流域下水道事業予定貸借対照表

(令和4年3月31日)

	千円	千円	千円	千円
資 産 の 部				
1 固 定 資 産				
(1) 有 形 固 定 資 産		54,917,505		
減 価 償 却 累 計 額		<u>△5,048,906</u>		
有 形 固 定 資 産 合 計			49,868,599	
(2) 無 形 固 定 資 産				
無 形 固 定 資 産 合 計			<u>12,750</u>	
固 定 資 産 合 計				49,881,349
2 流 動 資 産				
(1) 現 金 預 金			297,815	
(2) 未 収 金			60,971	
(3) 前 払 金			<u>51,587</u>	
流 動 資 産 合 計				<u>410,373</u>
資 産 合 計				<u><u>50,291,722</u></u>
負 債 の 部				
3 固 定 負 債				
(1) 企 業 債			<u>8,168,425</u>	
固 定 負 債 合 計				8,168,425

注 記

I. 重要な会計方針に関する注記

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

・主な耐用年数

建 物 8～50年

構 築 物 30～50年

機械及び装置 8～20年

工具器具及び備品 5～15年

車 両 6年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

2 引当金の計上方法

・貸倒引当金

貸倒実績がないため、計上していない。

3 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

該当なし。

III. 予定貸借対照表に関する注記

予定貸借対照表に計上されている企業債については、一般会計が負担する。

IV. セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

和歌山県流域下水道事業会計は、紀の川流域下水道（伊都処理区）、紀の川中流流域下水道（那賀処理区）を運営していることから、2つを報告セグメントとしている。
なお、各報告セグメントに属する事業の内容は次のとおりである。

施設の名称	処理する区域の存する市町
紀の川流域下水道	橋本市、かつらぎ町、九度山町
紀の川中流流域下水道	紀の川市、岩出市

2 報告セグメントごとの資産等

当年度（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

（単位：千円）

	紀の川流域下水道	紀の川中流流域下水道	合計
セグメント資産	24,966,120	25,325,602	50,291,722
セグメント負債	20,139,837	23,912,082	44,051,919
その他の項目 有形固定資産及び無形固定資産の増加額	857,868	374,573	1,232,441

V. 減損損失に関する注記

該当なし。

VI. リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当なし。

VII. 重要な後発事象に関する注記

該当なし。

VIII. その他の注記

該当なし。